

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋 尚代
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-2104
事務事業名	4277 学校給食センター施設整備事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	12010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
会計	01 一般会計										
科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費										
事業	970000 学校給食センター施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果					
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。						昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
令和2年12月に新学校給食センターが完成し、4月からの稼働に向けて準備を行った。	新学校給食センターにて学校給食の提供を行う。旧学校給食センターの解体工事を行う。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	新センター建設進捗状況：工事費				
算式	実施した工事の総額÷必要な工事の総額×100				単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100			
	実績				
指標選定の理由	解体工事費用50,000,000円				
最終年度目標の根拠	令和3年度を100%とする。				
指標名					
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		2,225,631	50,000
特定財源	国庫支出金	331,280	26,301
	都道府県支出金	0	0
	地方債	1,101,800	0
	その他	0	0
一般財源		792,551	23,699
人員数(人)	正規職員	0.4	0.1
	嘱託職員	0.2	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	696.8
	嘱託職員	629.8	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,417.0	696.8
市民一人当たりの経費		42.6	1.0
総額		2,229,048.0	50,696.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	23,242	設計委託料1,298 PFIモニタリング業務21,944
14節 工事請負費	15,698	道路等関連工事15,698
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,186,691	家屋購入費2,186,691

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	50,000	旧センター解体工事50,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	現行衛生管理基準に沿った施設が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	新施設完成によりアレルギー対応食の提供が行えるようになった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	新施設が完成し、PFI方式による効率的な管理運営を行うことができるようになった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け工期延長となったが、12月には竣工し、その後、2021年4月からの新施設での給食提供に向け開業準備を進めた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
旧センターの解体工事で施設整備関連は終了する。以降はPFI事業の計画に沿って事業を進める。		新型コロナウイルス感染症の影響を受け工期延長となったが、12月には竣工し、2021年4月からの新施設での給食提供に向け、準備を行った。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	